資料4

平成２８年度

決　算　報　告　書

（第７期事業年度）

自　　平成２８年　４月　１日
至　　平成２９年　３月３１日

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

平成２８年度　決算報告書

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

（単位：百万円）

区分	予算額	決算額	差額（決算－予算）	備考
収入				
運営費交付金	13,140	13,140	0	
施設設備等整備費補助金	263	243	▲ 20	（注１）
自己収入	350	318	▲ 32	
依頼試験手数料等	177	129	▲ 48	（注２）
財産売払収入	125	136	11	（注３）
知的財産関連収入	16	21	5	（注４）
雑収入	32	32	0	
受託研究等収入及び寄附金収入等	1,092	1,172	80	
受託研究等収入等	1,092	1,172	80	（注５）
補助金収入	120	66	▲ 54	（注６）
前中期目標期間繰越積立金取崩	250	225	▲ 25	（注７）
計	15,215	15,163	▲ 52	
支出				
研究経費	1,014	929	▲ 85	（注８）
一般管理費	2,826	2,817	▲ 9	（注９）
人件費	9,649	9,397	▲ 252	（注10）
受託研究等経費及び寄附金事業費等	1,092	1,164	72	
受託研究等経費等	1,092	1,164	72	（注11）
施設設備等整備費	513	437	▲ 76	（注12）
補助金事業費	120	65	▲ 55	（注13）
計	15,215	14,808	▲ 407	
収入－支出	－	355	355	

（注１）入札結果に基づく契約確定額の減少などにより、予算額に比して２０百万円減少しました。

（注２）依頼者等の減少などにより、予算額に比して４８百万円減少しました。

（注３）農産物や畜産物等の売払収入の増加により、予算額に比して１１百万円増加しました。

（注４）特許権等の実施料の増加などにより、予算額に比して５百万円増加しました。

（注５）受託研究及び寄附金の獲得に努めたことに加え、前年度からの繰越があったことなどにより、予算額に比して８０百万円増加しました。

（注６）年度途中で採択を見込んでいた補助金の減少などにより、予算額に比して５４百万円減少しました。

（注７）繰越積立金の取崩しを中止したため、予算額に比して２５百万円減少しました。

（注８）損益計算書の計上額と決算額の集計区分が違うため、損益計算書と決算報告書の研究経費の額が相違しています。また、経費の節減に努めたことにより、予算額に比して８５百万円減少しました。

（注９）損益計算書の計上額と決算額の集計区分が違うため、損益計算書と決算報告書の一般管理費の額が相違しています。また､経費の節減に努めたことにより､予算額に比して９百万円減少しました。

（注10）職員人件費等の減少により、予算額に比して２５２百万円減少しました。

（注11）注５に示した理由などにより、予算額に比して７２百万円増加しました。

（注12）注１に示した理由などにより、予算額に比して７６百万円減少しました。

（注13）注６に示した理由などにより、予算額に比して５５百万円減少しました。